（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター　ぽこぽこ			
○保護者評価実施期間	令和　８年　１０月　１日	～	令和　８年　１０月　３０日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	令和　８年　１０月　１日	～	令和　８年　１０月　３０日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和　８年　１１月　２日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	式ぴが広く体育館やプール等施設設備が充実しており身体を動かして遊ぶことができる。	大きく身体を動かすことで身体機能の強化、体力作りに繋がるようにしている点。	活動の幅が広がるように有効に活用できるような計画を立案しています。
2	ペアレントトレーニングの実施や保護者交流会等保護者同士の活動の我が拡がるような取り組みがある。	家庭での子育てや関わりについて保護者同士で話ができたりよりよい関係づくりに繋がるようにいろいろな話題やワークショップを計画している。	参加しやすい日程の調整や参加者の意見を共有する等してたくさんの保護者の方に参加してもらえるように計画をしています。
3	敷地内に入所施設、放デイがあり交流することができる。	行事等（チェロコンサート、絵本の読み聞かせ）異年齢での交流をしています。	行事や研修等いろいろな機会で交流する機会を計画します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設設備が古く段差等もある。	児童発達支援用の環境として準備されていない為利用児童にあったものでない。	トイレにはマットを設置し段差をなくしています。また、手洗い場は足台を用意し使いやすいように工夫しています。その他環境調整をしながら支援しています。
2	活動場所への移動がある。	敷地が広いため体育館やプール、ホールへは廊下を歩いて移動が必要となる。	移動先を写真やカードで伝えたり、安全に移動できるように配慮しています。
3			